

令和 4 年度 地域学校協働本部事業報告

「地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支える～支援から協働へ～」
 ～コミュニティ・スクール(学校運営協議会)と地域学校協働活動の一体的推進を目指して～

清須市地域学校協働本部

1 はじめに

「地域とともにある学校づくり」・「学校を核とした地域づくり」の実現に向けて、平成 27 年 12 月の中教審答申（地域と学校の連携・協働）を受け、平成 29 年には、保護者や地域住民が学校運営に参画する仕組みである学校運営協議会の設置が努力義務となり、地域と学校が連携・協働し、幅広い地域住民や保護者等の参画により地域全体で子ども達の成長を支え、地域を創生する「地域学校協働活動」を全国的に推進するため、社会教育法も改正されました。これにより、本市においても、地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの一体的推進を目指し取り組むこととしました。

本市は、平成 20 年度より「学校支援地域本部」を設置し、現在は、この学校支援本部をベースに、学校と地域が組織的に連携・協働する連携協力体制を構築しています。

15 年目となる今年度は、学校支援地域本部から地域学校協働本部へと発展させ、地域学校協働活動の理念の下、地域全体で子ども達の学びや成長を支えていく取り組みができるよう、より幅広い地域住民等の参画を推進し、活動の幅を広げ、多様な取り組みを実施できるような体制を整えています。

新型コロナウイルス感染症の影響で、社会全体が、長期間にわたり、「新しい生活様式」を取り入れ、生きていかなければならない状況下におかれています。

子ども達はもとより、高齢者や持病をお持ちのボランティアの方々の命を守ることを第一優先とし、活動は制限されますが、学校では、感染症対策を講じつつ、学校教育が協働的な学び合いの中で行われる特質を持つことに鑑み、学校教育ならではの学びを大事にしながら教育活動を進め、最大限子ども達の健やかな学びを保障し、新学習指導要領の目指す学びを着実に実現するために、スタートを切りました。コロナ禍で、この 2 年間ほぼ休止状態だったボランティア活動も、少しずつ再開されつつあります。

学校支援ボランティアとして、275 名が直接登録されており、他団体に所属されながら、ボランティア内容に応じて、活動して下さる方々も、大勢いらっしゃいます。

今年度も、本市における地域学校協働本部事業は、地域コーディネーターによるきめ細かな対応により、学校との信頼関係を築き、学校ごとに、様々な活動が展開されています。特に、図書館との連携については、全小中学校において、学校配本として、図書館の本を子ども達に届けるだけでなく、授業用貸出にも力をいれ、タブレット学習との併用が高評価を得ています。

2 地域学校協働活動及び地域学校協働本部の概要

「地域学校協働活動」とは、地域の高齢者、保護者、PTA、NPO、民間企業、団体等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、学校を核とした地域づくりを目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動です。多くの幅広い層の地域住民、団体等が参画し、緩やかなネットワークを形成することにより、地域学校協働活動を推進する体制として、平成 27 年の中央教育審議会の答申で提言されました。

連携の体制は様々な形態があり得るため、地域学校協働本部について法律上の規定はありませんが、改正後の社会教育法の第 5 条及び第 6 条の規定では、教育委員会が地域学校協働活動の機会を提供するに当たって、地域住民等と学校の連携協力体制の整備が求められており、地域学校協働本部の整備のための支援もその取組の一つです。

今年度は、「学校支援地域本部」より、「地域学校協働本部」へと体制を移行いたしました。その整備にあたっては、地域による学校への「支援」から、地域と学校双方向の「連携・協働」を推進し、「個別」の活動から「総合化・ネットワーク化」へと発展させていくことを前提とした上で、①コーディネート機能、②多様な活動、③継続的な活動の 3 要素を必須とすることが重要であるとされていることから、この 3 要素に重点をおき、報告させていただきます。

3 地域と学校の連携・協働体制構築について

(1) 地域と学校の連携・協働体制の構築

・「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた基盤となる体制を構築するために、「コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)」と「地域学校協働活動」を一体的に推進することを目指します。

・本市すべての小中学校に学校運営協議会を設置し、地域とともにある学校づくりを推進するため、効果的な導入・運営方法等について学校・地域間で情報交換・情報共有等を行い、総合的な推進方策について検討していきます。本市においては、学校評議員制度があり、十分な活用の実績があるので、この評議員制度を土台として、学校運営協議会へ移行することが、より実効性があります。

今年度は、先行して、「学校支援地域本部」を、「地域学校協働本部」へと、移行しました。

令和5年度以降に、「学校評議員制度」を土台とした、「コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)」へと移行していくことを目指していきます。

・地域と学校をつなぐ「地域学校協働活動推進員」を配置し、地域の実情に合わせた様々な地域学校協働活動の実施及び総合化、ネットワーク化を目指します。

(2) 地域学校協働活動の実施

学校運営協議会をはじめとする学校と地域の様々な協議に基づき、地域の様々な方々の参画を得て、学習支援や体験活動などの取組を実施するとともに、学校と地域とが連携・協働し「学校における働き方改革」を踏まえた活動に取り組みます。

4 コーディネート機能

コーディネート機能を強化するためには、研修制度を活用し、コーディネーター一人一人がスキルアップすることが、最も効果的であると考えています。今後は、本市独自の研修制度の確立を目指し、レベルアップを図ってまいります。これに伴い、本市においても、今年度より、「地域学校協働活動推進員」を設置いたしました。今年度は、統括コーディネーターと地域コーディネーター12名、計13名が「地域学校協働活動推進員」として、委嘱されました。サブコーディネーターについては、昨年度同様、地域コーディネーターを補佐していただく旨の契約書を、取り交わしました。

コーディネート機能をさらに、充実させていくためには、コーディネーターが、組織的に、チームとして、機能することが重要であると考えています。

来年度以降は、サブコーディネーターを含めたメンバー全員を、「地域学校協働活動推進員」と位置づけたいと考えています。コーディネーター会議や研修会等の機会を設け、スキルアップに努め、コーディネート機能を充実していく予定です。また、各学校2名以上の配置を目指し、引き続き、コーディネーターの増員に努めます。

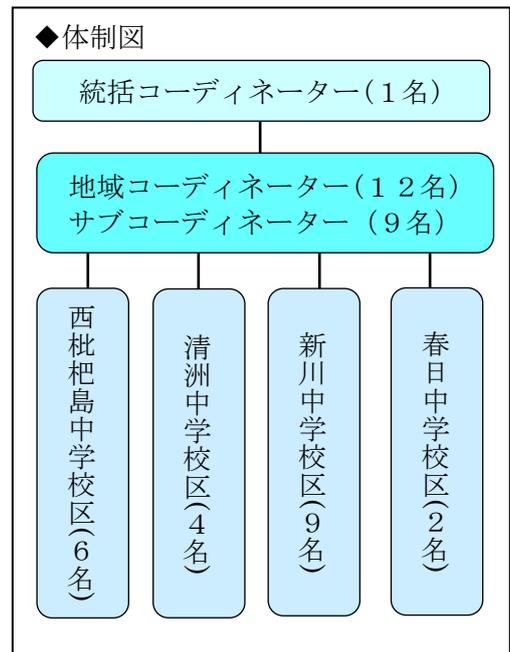
地域と学校の連携・協働の推進に当たって重要な役割を果たすコーディネーターですが、本市においては、専門性をもった方をお願いするのではなく、地域ボランティアとして、献身的な活動をされている方をお願いをし、引き受けていただいています。今後は、地域の中で、ボランティアの調整を主とするコーディネーターと、企画・運営を主として活動するコーディネーターを発掘していく必要があると考えています。

(1) コーディネーター会議の実施(6月6日)

年度初めに、地域コーディネーターと意思の疎通をはかり、市全体としての方針を決めました。

(2) 「地域とともにある学校づくり愛知フォーラム・研修会 2022」(8月19日)

愛知県教育委員会主催の「地域とともにある学校づくり愛知推進フォーラム」に、WEB参加することができました。『集まれ!地域のチカラ 輝け!学校のミライ~コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進~を、テーマに、事例発表・意見交換・シンポジウム・講演と、多くのことを学ぶことができました。本市としての方向性を確認することができ、来年度のコミュニティ・スクール設置に向けて、「ビジョンを共有する」等課題もみつけられました。



コーディネーター配置に関しては、本市独自のサブコーディネーターを配置する等の方向性は、間違っていないことを確信することが、できました。

(3)「令和4年度地域コーディネーター等研修会」

11月1日(火) 「CS(コミュニティ・スクール)・地域学校協働活動を知ろう」	【講義】 「CS・地域学校協働活動の必要性と愛知の現状」 講師：愛知教育大学 教授 風岡 治 氏
	【活動報告】 「わがまちのCS・地域学校協働活動1」 講師：みよし市学校教育課地域学校協働活動担当 山内 陽二 氏 【活動報告】 「わがまちのCS・地域学校協働活動2」 講師：岐阜市立岐阜小学校運営協議会会長 青山 朋宏 氏
11月11日(金) 「推進員・社会教育主事の果たす役割と展望」	【オンライン講義】 「地域と学校で作るあげるCS、地域学校協働活動に社会教育主事が果たす役割」～白川郷学園の取組をとおして～ 講師：白川村教育委員会事務局 社会教育主事 新谷さゆり 氏
	【講義】 「さあ、地域コーディネーター(推進員)をやってみよう！」 ～地域コーディネーターとして必要なさまざまな知識とスキル～ 講師：NPO法人スクール・アドバイス・ネットワーク 理事長 生重 幸恵 氏
11月25日(金) 「学校を核にした地域づくり、まちづくり」	【講義】 「NPO法人として関わる地域づくり・まちづくり」 講師：NPO教育支援協会東海 代表理事 本多 功 氏
	【講義】 「学校を核とした地域づくりの展開」 (義務教育学校のCS・地域学校協働活動の仕組みも説明いただきます) 講師：長浜市立余呉小中学校(鏡岡学園) 主任事務主査 滋賀県教育委員会CSアドバイザー 松田 幸夫 氏
12月2日(金) 「地域全体で子供たちの成長を支える仕組み」	【オンライン講義】 「放課後の子供たちを支える地域のしくみで、子供がかわる！大人がかわる！地域がかわる」 講師：文教大学人間科学部人間科学科 教授 金藤ふゆ子 氏
12月9日(金) 「これからの地域学校協働活動の在り方」	【講義】 「地域学校協働活動で新しい地平を拓く」 講師：愛知教育大学 教授 大村 恵 氏
	【講義】 「子供を中心にすえた学校づくり、地域づくり」 ～多様な主体との連携・協働により育つ子供、地域の創生～ 講師：野洲市社会教育委員会委員長・CSマイスター 高木 和久 氏

愛知県教委委員会が、主催する研修会に、オンラインにて受講することができました。年々、研修会に参加する自治体も増え、個人的なコーディネーターのスキルアップのための研修会というより、自治体としてどのように、取り組むべきかを問う研修会の内容だったように感じました。CSと地域学校協働活動の一体的推進において、コーディネーターの役割が重要であればあるほど、本市におけるコーディネーターの基盤は、実にもろいものだと感じずにはいられませんでした。個々のコーディネーターの誠意と熱意に甘えるしかないのもまた、現状であると思われ知らされました。

本市が委嘱しているコーディネーターは、他に職業を持ち、長時間にわたる研修を受講できる環境にないコーディネーターも多くみられます。そういったコーディネーターを、どのようにバックアップし、フォローしていくかも、大きな課題です。

令和5年度も、引き続き受講していく予定です。

令和5年度のコーディネーター等研修会の予定

① 7月7日(金) ② 7月14日(金) ③ 7月25日(火) ④ 8月9日(水)

⑤ 8月30日(水) 半日 ⑥ 9月7日(木) 半日 ○ フォーラム 8月23日(水)

(4)「読書ボランティアスキルアップ講座」

子どもの読書活動を一層推進するために、読書ボランティアの更なるスキルアップを目指した講座が、愛知県生涯学習推進センターにて開催されました。

市内での読み聞かせボランティアのスキルアップ向上のための良い機会となりました。

子ども達と直接ふれあい、学校という教育の場での、読み聞かせボランティアをおこなう上での、最低限の知識と、学校支援ボランティアとしても意識を高め、ボランティアの自己満足になることのないように、コーディネートしていくことの必要性を感じました。

10月18日(火)	「子どもは絵本がだいすき～子どもと絵本の出会いを考える～」 講師：名古屋女子大学 文学部児童教育学科 准教授 村田 あゆみ 氏
	「紙芝居の世界ーすてきな秘密と演じるよろこびー」 講師：紙芝居文化の会 運営委員 道山 由美 氏
10月25日(火)	楽しいおはなし(ストーリーテリング)の世界」 講師：名古屋市中川図書館 司書 大島 由美子 氏
	「驚きがいっぱい！科学の絵本も読み聞かせて楽しみましょう」 講師：科学読物研究会 会員 篠田 木末 氏

(5)令和4年度「親の育ち」家庭教育支援者養成講座

乳幼児から小中学生をもつ親の子育てについて地域で気軽に相談に応じたり、子育てグループや子育てサークルの活動を支援したりする「子育てネットワーカー」を始めとした家庭教育支援者を養成・育成する講座をオンラインにて受講しました。地域コーディネーターとして、過去にも、この養成講座を受講していますが、日々変わっていく社会の現状を知り、地域と家庭をつなぐヒントがちりばめられた講座でした。

9月13日(火)	単位A：子供の特性と保護者支援：「乳・幼児期編」 講師：岡崎女子短期大学 准教授 丸山笑里佳 氏
	単位B：子供の特性と保護者支援：「児童期・思春期編」 講師：愛知教育大学 教授 野平 慎二 氏
9月22日(木)	単位C：(行政説明) 現在の保護者を取り巻く状況や施策の動向 講師：文部科学省家庭教育支援室担当 (オンライン) 愛知県教育委員会生涯学習課担当 愛知県福祉局子育て支援課担当
	単位D：(事例報告) 子育て・家庭教育支援の現状 講師：NPO 法人 Smiley Dream 理事長 櫻井 雅美 氏
9月28日(水)	単位F：特別な配慮を必要とする子供の特性及びその支援 講師：愛知教育大学 講師 安藤久美子 氏
	単位E：地域における子育てネットワーカーとしての家庭教育支援と講座運営 講師：子育てネットワーカー 宮崎 初美 氏

5 多様で、継続的な活動の推進

(1)プログラミング教育への支援

平成27年度より、愛知県委託事業「シニア地域デビューモデル事業」において、取り組んだビジュアルプログラミング言語「ビスケット」を用いたプログラミング学習を継続的に推進しています。今年度も、昨年度に引き続き土曜子ども教室(サタデーキッズ)にて、開催(12/3)いたしました。

各学校でのタブレット学習が浸透してきており、今年度は、「ビスケット」を使用したことのある子ども達が、70%近くになっており、学校のタブレットに、「ビスケット」のアプリが、インストールされている学校が、数校あることがわかりました。雨の日の休み時間には、自由にビスケットをやれる環境にある小学校もある中で、アプリが入っているけれど、やったことがないという子ども達もいました。



学校からの依頼があれば、すぐに応えられるように、「学校支援ボランティアプログラミング養成講座(11/26)」を開催し、専門的学習支援ボランティアの育成にも努めておりますが、学校支援ボランティアの方は、大幅な増員は、難しい状態です。

(2)「親子わくわくプラザ」の開催

すべての子どもたちが、それぞれの輝く未来に向けて、夢と希望を持って成長できるよう、「学び」「食」「あそび」の3つを1つの事業として展開していくことで、地域にある様々な機関・団体等や、世代を超えた地域ボランティアと連携を図ることができ、子どもを中心とした地域の絆づくりへと発展させることができると考え、地域コミュニティの場所をつくることによって、

・子どもの居場所づくり・子育て中の母親支援・大人のたまり場を、目指す「親子わくわくプラザ」の開催を予定しています。

地域との結びつきを重視し、「ふれあいの居場所」を「地域に住む多世代の人々が自由に参加でき、主体的に関わることにより、自分を生かしながら過ごせる場所。そこでのふれあいが、地域で助け合うきっかけにつながる場所」が、必要であると考えています。多世代が自由に往来し日常的に顔をあわせるなかで、それぞれが社会的役割を見出すあるいは確認できる場所であり、地域コミュニティの活性化につながります。



新型コロナウイルス感染症により、活動休止中でしたが、今年度は、「ボーイスカウト清須第一団」「にしび友愛給食会」「夢のかけはし実行委員会」「子育てネットワークわくわく」地域のボランティア団体「千春会」等の協力の下、「かきぞめとおもちつき」を、開催予定(2023.1/29)です。

(3)「おはなしぱびぷぺぼ」おはなし会の開催

読み聞かせボランティア「おはなしぱびぷぺぼ」は、清須市学校支援地域本部が、養成講座を開催し養成したメンバーで、構成されています。メンバー構成年齢が、40才代～80才代までと、幅広く、小学校での読み聞かせだけでなく、幅広いボランティア活動を続けています。約2年間活動休止状態にありましたが、今年度は、月1回の定例会をはじめ、西枇杷島児童館での、小さな親子向けのおはなし会や、放課後子ども教室でのおはなし会を、再開しました。



- ・西枇杷島児童館でのおはなし会(親子対象)…毎月1回
- ・桃栄児童館でのおはなし会(小学生対象)…毎月1回
- ・「古城小学校放課後子ども教室」でのおはなし会…年数回
- ・「西枇杷島小学校放課後子ども教室」でのおはなし会…毎月1回
- ・新川小学校、朝の読み聞かせ…年2回(主にPTAボランティア)

6 学校における学校支援ボランティアの継続的な活動

(1) 読書活動推進の支援

今年度も、図書館連携「学校配本」については、「読書支援」と、「授業用貸出支援」を、2本の柱として展開しています。

各学校における図書ボランティアの活動も再開され、毎月定期的に、図書整備に携わってくださるボランティアを一定数確保できており、学校と地域コーディネーターとの連携もスムーズに行われています。図書ボランティアの活動は、ほぼ全小中学校で行われており、本格的な図書の修繕から、新刊図書のカバーがけ、図書室全体の整備や、子ども達におすすめ本を紹介するコーナーを作成したり、その活動は、多岐にわたります。

◎「読書支援」定期便について

中学校4校については、基本150冊を年5回配本

小学校8校については、基本150冊を、低学年用・低中学年用・中高学年用・高学年用と、4種類のセットを、年3回配本

学校からの感想等

・図書館の選書が良く、子ども達が普段読まない手にしない名作を入れていただいていること、幅広いジャンルが配本されている。配本にて読むことがなくても、一度手にしたり、ケースの中で、目にしていれば、「あの本みたことがある」と思い出すこともあるのではないかと。(清洲小)

・「本ありがとうございました。わたしは『図工が楽しくなる』という本が好きでした。クラスみんなが、本を読んで、本のおもしろさがわかりました。(清洲小・児童の感想)

・児童が本を読む機会が増え、よかった。(清洲東小)

・学級文庫として、活用することにより、効率的に活用できている。(桃栄小)

・一部の生徒は、配本を楽しみにしており、届くと興味を示してくれている。(新川中)

・現在、図書室での学校図書貸し出しをしていないので、とても助かっている。(西枇杷島中)

・なかなか生徒が借りる時間がなく、せっかく届いているのに、貸し出しできないこともあった。

◎「授業用貸出」について (1,2 学期のみ)

貸出期間	貸出冊数	対象学年	内容	学校名
6/8～7/15	30 冊	3 年総合	「生き物について」	新川小
6/29～7/15	40 冊	5 年国語	「みんなが過ごしやすい町へ」	古城小
7/1～7/20	10 冊	3 年国語	「しごとのくふうみつけたよ」	星の宮小
9/1～11/18	11 冊	5 年総合	「福祉について学ぶ」	清洲小
9/1～11/18	68 冊	4 年社会総合	「地球の環境問題」	清洲小
9/1～10/7	10 冊	2 年国語	「どうぶつえんのじゅうい」	清洲東小
9/1～11/4	40 冊	5 年総合	「伝統芸能について」	清洲東小
9/22～11/4	35 冊	中 1 総合	「金融教育について」	西枇杷島中
9/22～11/4	50 冊	3 年総合	「生きものについて」	新川小
9/28～10/14	30 冊	6 年社会総合	「修学旅行について」	古城小
9/28～12/23	26 冊	3 年社会	「昔のくらし」	清洲小
10/5～11/4	50 冊	6 年社会総合	「修学旅行について」	清洲小
10/7～11/18	50 冊	4 年総合	「福祉実践教室 調べ学習」	新川小
10/7～11/18	24 冊	1～3 年	「秋の読書週間読み聞かせ」	新川小
11/8～12/6	40 冊	1 年国語	「じどうしゃずかんをつくろう」	清洲東小
10/14～11/4	30 冊	6 年社会総合	「修学旅行について」	桃栄小
10/25～11/30	40 冊	4 年社会総合	「日本の伝統工芸」	清洲東小
11/8～12/6	40 冊	4 年国語	「伝統工芸」	新川小
11/18～12/23	24 冊	全学年	「人権週間」	新川小

学校からの感想等

- ・昨年度は、コーディネーターと試行錯誤しながら進めたが、詳しい希望内容に応じてくれるので、より授業に使いやすいことがわかり、複数の学年にて活用することができている。(清洲東小)
- ・要望提出が配本日までとても短い期間であったこと、図書館休館日であったにもかかわらず、希望通りに配本していただき、とても助かった。(古城小より)
- ・授業は、ネット検索のみで、「調べ学習」を行う予定だったが、授業用配本の機会を知り、利用した。児童には、ネットと本のどちらを使用してもよいと指導したが、本を使う子が、多かった。教員としても、ネットの記事には、使用に注意が必要であるが、本には、その心配がなく、安心して調べ学習を進めることができた。
- ・選書に関しても、単元にとってもあった。
- ・児童には、点字の本に人気があった。授業以外でも、手に取って読んでいる子がたくさんいた。
- ・どの本も新しく見やすかった。(児童の感想)

今後の課題

- ・学校配本は、図書館との信頼関係で成り立っている事業ではあるが、2 年目となり、人気のある本などには、やぶれやはがれが目立ち始め、本の痛みがでてきている。そのまま、子ども達へ配本することが、できないため、図書館から届いた本は、コーディネーターが、やぶれ等がないかを、時間をかけて、チェックしている。また、図書館返却時も、やぶれ等の痛みがないかを、チェックした後、返却しており、コーディネーターの負担が増えている。桃栄小のように、配本返却点検に、学校支援ボランティアに手伝っていただいたり、ボランティア活動のある日に、点検をおこなう工夫をしている学校もあるので、参考にしていきたい。
- ・シリーズものが、バラバラになっているので、せめて 2 巻ぐらいいは、続きが欲しい。清洲小は、クラス数が多いため、全ケースを期間内に、他クラスへ回すことができない。
- ・新川中の場合、学校配本の本が、図書室においてあるため、行事があると、休み時間に図書室に行く時間がなくなり、手に取る機会が減ってしまうという問題がある。配本は、BOX で、届くため、「図書室」という場所ではなく、生徒達にいつも手に届くところに置くことも可能であるため、何らかの工夫が必要である。
- ・学校配本の選書については、図書館に依頼しており、以前は、生徒たちのリクエストも入れてもらっていたが、現在はセット内容が事前に決められており、融通性に課題がある。今年度の中学校

用には、様々なジャンルが用意されており、マニュアル本や指南本等がたくさん入ってきている。読書を始める(あまり本を読まない生徒)にあたっては、文字が少なく、絵も多く、手に取るには、とても良いと思うが、本が好きな生徒にとっては、中学生向けの小説だけでなく、一般小説や、ミステリー小説、ベストセラー本が、好まれており、そういった本が増えていくとよいと思う。

・授業用貸出については、学校の要望がどのようなものであるのか、こういった形が、学校と図書館にとってベストな形であるのか、模索中である。たくさんの要望があれば、年間計画も立てやすいので、来年度以降も、学校の要望を詳細に聞き取ることが、コーディネーターの大きな役割となってくる。また、「修学旅行」や「福祉実践授業」の調べ学習の図書は、同時期に、複数の学校からの依頼が重なるため、図書館には、複数図書の充実をお願いしており、各学校には、早めの日程連絡をお願いしたいと考えている。今年度は、年度初めに、「重なった場合は、先着順」というお願いを学校側にしていたが、地域学校協働本部としては、全学校の要望に、できるだけ応えたいという思いがあるので、来年度以降は、重複する可能性のある貸し出しについては、はやめに対応していきたい。

(2)防災教育推進支援

①大型紙芝居「忘れない東海豪雨」の実演

西枇杷島小学校(9/30)、古城小学校(11/25)、春日小学校(11/30)において、実演

②防災訓練の補助

西枇杷島中学校にて3月中旬実施予定

防災教育は、学校や地域のみならず、様々な機会・場を通じて、

- ・それぞれが暮らす地域の、災害・社会の特性や防災科学技術等についての知識を備え、減災のために事前に必要な準備をする能力
- ・自然災害から身を守り、被災した場合でもその後の生活を乗り切る能力
- ・進んで他の人々や地域の安全を支えることができる能力
- ・災害からの復興を成し遂げ、安全・安心な社会を構築する能力、といった「生きる力」を涵養し、能動的に防災に対応することのできる人材を育成するために行われるものである。とされています。東海豪雨を風化させない活動は、継続してこそ価値ある活動になると思っています。

(3)その他の支援

- ・PTA総会・懇談会時(4/25)の1年生の預かり事業(2年間はコロナ禍のため中止)

西枇杷島小学校、清洲小学校、清洲東小学校にて実施

- ・野外学習支援(小学5年生対象)…主として、キャンプファイヤーの準備・後片付け等。

ボーイスカウト清須第1団の補助支援・学校支援ボランティアとして支援した活動等、様々な支援体制を模索中。

清洲小(5/18) 桃栄小(5/27) 新川小・古城小(5/29) 星の宮小(6/16)

西枇杷島小・清洲東小(雨天中止)

西枇杷島中学校

- ・図書ボランティアによる図書修繕

(8/25・8/31・10/26・11/30

・1/18・2/17 予定)



清洲中学校

・「きよ丸文庫・貸出」… 毎週月木曜日 12:00~13:30 学校配本をボランティアにて貸し出し
(5/19・5/23・5/26・5/30・6/2・6/9・6/27・6/30・7/4・7/11・7/14・9/5・9/8・9/12・9/15・
10/17・11/24・11/28・12/8・12/12・12/15・12/19)

・「きよ丸文庫・図書室整理」…10/3・10/6・11/7・11/14・11/21

・吹奏楽部スプリングコンサート楽器搬入補助支援 予定(2023.3/11)

新川中学校

・あいさつ運動(5/10・5/11・6/14・6/15・7/13・9/6・9/7・10/4・10/5・11/8・11/9・12/6・
12/7・2023.1/10・1/11・2/7 予定・2/8 予定)

・図書ボランティアによる図書整備(5/31・6/14・11/29・12/15)



本日、PTAあいさつ運動を実施しました。雨天にもかかわらず、積極的にご参加いただきましたPTA委員や地域の皆様、本当にありがとうございました。明日15日も予定通り実施いたしますので、お気軽にお越しいただければと思います。(新川中HPより6/14)



本日、図書ボランティアの方々がお見えになり、学校のために活動していただきました。前回5月31日には、各学年のフロアにある「学校配本」の紹介や「おすすめの本(動物シリーズ)」の掲示物を作成していただきました。今後も、生徒の皆さんが積極的に図書室を利用してくれるのを楽しみにしています。(新川中HPより6/15)



春日中学校

・図書ボランティアによるカバー貼り(4/20・7/27・11/30・12/13)

西枇杷島小学校

- ・「Smile(スマイル)」定例会・図書修繕(5/16・6/6・7/6・10/19・11/18)
- ・PTAふれあい部との合同活動(図書修繕としおり作り)(6/29・9/15・12/16)



学校支援ボランティアの皆さんのご協力を得て、PTAふれあい部の活動として図書修繕に取り組み始めました。(西枇杷島小HPより6/29)



図書室整備 Smileのみなさん、ありがとうございます。(西枇杷島小HPより10/19)



東海豪雨紙芝居に向けて
22年前の9月、西枇杷島地区を東海豪雨が襲いました。本校では、毎年この時期に、東海豪雨を語り継ぐことをねらいとして、6年生と学校支援ボランティアの皆さんが東海豪雨紙芝居を行っています。今年度は9月30日(金)に行われます。今週末の本番に向けて、朗読の練習が始まりました。(西枇杷島小HPより9/26)



1・6年 東海豪雨紙芝居
紙芝居公演を通して、22年前に起きた東海豪雨について理解を深めました。6年生一人一人が朗読し、1年生が鑑賞しました。学校支援ボランティアのみなさんには、会場準備や練習で大変お世話になりました。ありがとうございました。この町に起こった出来事を決して忘れず、この東海豪雨で学んだ教訓を未来につなげていきたいです。(西枇杷島小HPより9/30)



5年生 東海豪雨紙芝居今年度の紙芝居の映像を見て、東海豪雨のときの自分たちの町の様子を知り、災害に対する心構えを高めました。(西枇杷島小HPより10/28)

古城小学校

- ・「HAPPY×2(はっぴいはっぴい)」 打ち合わせ(6/16)
- ・ 図書修繕講座開催(12/2)



5年生 さくら文庫の本を楽しんでいます。 清須市立図書館から、さくら文庫として本を貸し出して頂いております。子どもたちも進んで本を手に取り、読書に励んでいます。(古城小HPより 10/4)



6年生 修学旅行事前学習 清須市図書館からお借りしたさくら文庫の本を使って、修学旅行に向けての事前学習を始めました。(古城小HPより 10/6)



東海豪雨紙芝居 学校支援ボランティアの方々と二代目古城っ子ボランティア(6年生)による「東海豪雨紙芝居」が行われました。5, 6年生が体育館で紙芝居を聞きました。紙芝居を聞き、子どもたちは、災害の備えを見直すことの必要性を感じた子がたくさんいました。また、そのためにも語り継いでいくことの大切さに気付いた子もいました。(古城小HPより 11/28)



本の修繕ボランティアに多くのPTAの方が参加してくださいました。講師の先生に本の直し方を教えていただき、みなさん手際よく丁寧に修理をしてくださいました。背表紙が傷んだり、ページが外れたりした本が、再びきれいになって古城っ子のもとに戻ってきます。(古城小HPより 12/2)

清洲小学校

- ・ 身体測定補助(4/11・4/12・4/13・4/15・4/19・4/27)
- ・ 内科検診補助(5/13・5/31・6/3)
- ・ 耳鼻科検診補助(6/2)
- ・ まちたんけん見守り支援(2年生 5/16・3年生 5/11・5/17)
- ・ 学校公開 保護者来校受付支援(6/4・11/19・2023.2/10 予定)
- ・ 運動会 保護者来校受付支援(10/13・10/14)
- ・ 就学時健診補助(10/20)
- ・ 3年生 消防署見学付き添い支援(11/7)
- ・ 4年生 保健思春期セミナー(12/14)
- ・ 入学説明会受付補助(2023.1/13 予定)
- ・ 図書修繕ボランティア(随時)



身体測定でも、学校支援ボランティアの皆様にお手伝いいただきました。(清洲小HPより 4/15)



2年生が校区探検に出かけました。学校支援ボランティアの皆さんに、ご協力頂きました。(清洲小HPより 5/16)



図書ボランティアの皆さんが、本の修繕、しおりづくりをしてくださいました。(清洲小HPより 6/15)



図書ボランティア活動 いつもたいへんお世話になっています。(清洲小HPより 4/20)



プラタナスの会 読み聞かせ
大きな絵本を子どもたちは、とても喜んでいました。
(清洲小 HP より 6/15)



運動会 2 日間の開催にあたって、学校支援ボランティアの皆様にお助けいただきました。
(清洲小 HP より 10/14)



学校公開日
学校支援ボランティアの皆様にお助けいただきました。
(清洲小 HP より 11/19)

清洲東小学校

- ・あじさい週間、どんぐり週間(読書週間)時に、図書委員と飾り付け作成(5/19・9/8)
- ・鉢植え水やり…1～3年生の鉢植えに休校日に水やり(5/29・6/4・6/5・6/12・6/19・6/26・7/3)
- ・図書新本カバーかけ(5/24・9/22・10/28・11/7)
- ・5年生 家庭科ミシン補助支援(2023. 1/25・1/27・1/31・2/1・2/7・2/8・2/10・2/14 予定～2/14 予定)



5月16・19・20日に、読み聞かせボランティア「びっくりばこ」さんによる今年度最初の読み聞かせがありました。朝から各学級で絵本の読み聞かせを行っていただき、楽しい時間を過ごすことができました。集中してお話を聞くことができたのは、びっくりばこの方々の素敵な朗読により、絵本の世界に引き込まれたからだと思います。(清洲東小 HP より 5/20)



図書委員会では、6月に実施を予定している「あじさい読書週間」に向けて、掲示物の準備をしました。学校支援ボランティアの方々にもご協力いただき、季節感あふれるすてきな掲示物ができました。ブックランドに掲示される日が楽しみです。(清洲東小 HP より 5/19)

新川小学校

- ・1年生給食のお手伝い(4/19～4/25)
- ・ボランティアによる読み聞かせ(5/30～6/10)
- ・図書ボランティアによる図書修繕(5/10・5/12・6/7・6/9・6/20・7/14・9/13・10/13・11/10・12/6・12/8・2023. 1/10 予定・1/12 予定・2/9 予定・3/7 予定・3/9 予定)
- ・図書修繕講習会(7/12)
- ・ボランティアによる読み聞かせ(11/8～11/17)



今年度の「あじさい読書週間」は、3年ぶりに、朝の業前の時間に1年生から3年生の教室で、PTAボランティアと地域学校協働本部の方による読み聞かせが行われています。コロナ対策として、座席は移動させないで大型本や紙芝居を使用するなど工夫された読み聞かせをしていただき、子どもたちはとても楽しみにしています。読書好きな新川っ子が増えるとよいと思います。(新川小 HP より 6/7)

星の宮小学校

- ・「星のしずく」図書整備(4/12・5/10・6/14・7/12・8/24・9/6・10/4・2023. 2/7 予定・3/14 予定)
- ・3年生校区探検 見守り(5/18・5/23)
- ・2年生まちたんけん見守り支援(10/6)
- ・清掃支援(10/3・10/11・10/13・2023. 3/13 予定・3/14 予定)



3年生校区探検 学校支援ボランティアの方々に、探検活動の補助や交差点等での安全指導を行っていただきました。子どもたちは、授業で学習した地図記号を地図に記入しながら、町の様子をしっかりと見てきました。来週月曜日にもう1回、今日とは違う方面に出かけます。また、学習支援ボランティアの皆様にはお世話になりますがよろしくお願いします。(星の宮小 HP より 5/18)



ボランティアの「星のしずく」のみなさんが図書室の整備をしてくださいました。本に保護シールを貼ったり、本の分類や整頓をしたりしてくださいました。子どもたちには図書室をたくさん利用してほしいと思います。(星の宮小 HP より 6/14)



学校支援ボランティアの皆さんが除草作業をしていただきました。今日は校舎南側の植え込みの除草をしていただきました。とてもきれいに除草していただいたおかげで、子どもたちも気持ちよく学校生活を送ることができます。
(星の宮小 HP より 10/13)



2年生町探検

今日は生活科の学習で、2年生が小グループに分かれて、校区内のさまざまな場所に出かけました。ご協力いただいた保護者のボランティアの皆様、学校支援ボランティアの皆様にご協力いただき、出発しました。子どもたちが安全に見学できるようにご協力いただいたボランティアの皆様、ありがとうございました。
(星の宮小 HP より 10/6)



桃栄小学校

- ・図書ボランティアによる図書整備（毎週火曜日）
- ・ボランティアによる読み聞かせ（6/8～6/10）
- ・5年生家庭科補助支援（6/29・6/30）
- ・運動会受付支援（10/20）
- ・ボランティアによる読み聞かせ（11/30～12/2）



今年度最初の図書ボランティアさんの活動がありました！！
たくさんの方々に来ていただき、本にカバーを付けていただきました！！
お忙しい中、本校の子どもたちのためにありがとうございました！！
(桃栄小 HP より 6/7)



今週も図書ボランティアさんの活動がありました！！
新しく入った本にカバーを付けていただきました！！
(桃栄小 HP より 6/21)



PTAボランティアさんによる「読み聞かせ」が始まりました！！今回は、1～3年生とひまわり学級で3日間行われます！！子どもたちとても楽しみにしていました！！ボランティアの皆さんよろしくお願ひします！！(桃栄小 HP より 6/8)

春日小学校

- ・図書ボランティアによる図書館飾付け等（4/20・5/11・6/8・7/6・9/7・10/5・11/2）
- ・小学校プール裏除草支援(12/27)



学校支援ボランティアと地域の方々にプール奥の敷地の除草作業を行っていただきました。
周囲を中心に作業していただき、草が巻きついていたフェンスなどがすっきりときれいになりました。
(春日小 HP より 12/27)



6月6日～14日は読書週間です。
図書ボランティアのみなさん、図書室の環境整備をしていただき、ありがとうございました。七夕の飾りを、子どもたちが喜んで見ていました。(春日小 HP より 6/8)



11月30日に清須市学校支援ボランティアの皆さんに東海豪雨の大型紙芝居をしていただきました。22年前の東海豪雨では、新川堤防が決壊し大きな被害が出ました。地域の人たちから、その地域の災害の歴史を学ぶことはとても大切です。自分の命を自分で守れる人に、また、家族やこの地域に住む人たちの命を守る人になれるよう、この地域の災害の歴史を知り、防災について考えるとても良い機会になりました。
(春日小 HP より 12/1)

7 おわりに

本市における学校支援地域本部事業は、「読書活動推進の支援」と「防災教育」を、大きな2本の柱としてきました。地域学校協働本部事業に移行した今年度もこの二つを継続して、活動してまいりました。

「読書活動推進の支援」については、3年前までは、「読み聞かせ」と「図書整備」に力を入れてまいりましたが、現在は、図書館と連携して推進している学校配本が、全小中学校に定着しつつあります。しかしながら、「読書支援」(定期便)に、関しては、まだまだ冊数が少ないために、小学校においては、年3回しか、配本ができないため、来年度以降も、図書館と交渉を続けながら、増冊に努めていきたいと考えています。

今年度、特に力を入れて進めてきたものに、「授業用配本」があります。6つの小学校と1つの中学校で、実績を積むことができました。また、あらゆる学年で、利用してくださる小学校も、出てきたことで、よりよい活用方法を、学校と図書館とともに、模索していきたいと考えています。

コロナ禍において、ストップしてしまった「読み聞かせ」についても、再開されつつあります。新川小学校においては、3年ぶりに読み聞かせボランティアを募集したところ21名ものボランティアが集まり、順調に再開させることができました。

個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実など、教育の質を向上させることをねらいとする「GIGAスクール構想」においても、1人1台タブレット等のICT環境を活用した新しい学びが、開始されています。学習指導要領の下、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を通して児童生徒の資質・能力を育成するためには、児童生徒の実情を踏まえながら、教科書、資料集等の教材、書籍、新聞、雑誌、インターネット等を効果的に組み合わせて活用することが、重要だとされています。全国的には、公立図書館の電子書籍貸し出しサービスが進み、子ども達のタブレットより、直接アクセスし、公立図書館の電子書籍の貸し出しサービスを利用できる自治体もでてきました。公立図書館と学校図書館を同じシステムでつなぐところもあります。本市においては、デジタル化における環境整備を整えていくことも、今後の大きな課題です。

「防災教育」については、「東海豪雨」を経験していない子ども達や、先生方に、東海豪雨を知ってもらい、風化させないために、継続的な活動がなによりも、大切だと感じています。

「東海豪雨」で、被害の大きかった西枇杷島地区を中心にして活動してまいりましたが、今年度、春日小学校で、大型紙芝居「忘れない東海豪雨」の実演を行うことができました。「東海豪雨」をきっかけにして、「災害」を身近に感じてもらい、「備えることの大切さ」を感じてくれたようです。

また、今年度は、学校だけでなく、地域のイベントでも、東海豪雨の紙芝居を上演することが、できました。東海豪雨紙芝居を制作した7年前に中学生だった子ども達が、22歳となり、ボランティアとして、参加してくれています。地域の大人の方々も、この実演を通して、地域学校協働本部事業を、理解していただくことができました。

丸2年間、停止していた活動も多く、とまどうことも多いスタートとなりました。PTA総会時の預かり事業については、3年前までは、1か月以上かけて準備していたところ、急遽おこなうことになりましたが、各学校の地域コーディネーターが、内容を見直しながら、対応することができました。

15年間継続してきた中で、新たな問題もでてきました。創成期に、協力してくださった地域ボランティアの方々が、高齢となり、今までと同様の活動が、難しくなってきた地域もでてきました。町の開発により、新しいお家が建ち、ますます地域の力が必要となってきました。登下校の見守りやあいさつ運動、日々の活動を継続させていくことで、地域の方々の温かいまなざりを感じながら、子ども達が成長していくことこそが、地域学校協働活動の原点だと思います。

来年度は、いよいよ「コミュニティ・スクール(学校運営協議会)と地域学校協働活動の一体的推進」の大きな一歩を踏み出すこととなります。学校を応援するだけでなく、学校の子=地域の子、それぞれの立場で子どもの課題を共有し、子どもを育てる目標を共有することが、できるような一体的推進を目指します。

「支援」から「協働」へと視点を変え、子ども達に地域で豊かな体験の場づくりを仕掛けていく必要性も感じています。主体的に活動する子ども達を育てていくことも、地域学校協働本部の大きな活動の一つです。